医薬品は「コスト」ではなく未来への「投資」である
創薬力強化の各施策を成果につなげる「出口戦略」の整備が最も重要

製薬協

革新的医薬品のイノベーションの更なる評価

中長期的な財源確保と国内再投資の促進
- 成長産業としての医薬品産業の位置付けのもと、中長期的な公的資金・別財源を確保し、薬価制度改革と国内再投資で好循環を創出

革新的医薬品の評価と制度の持続可能性
- 革新的医薬品の評価が研究開発投資を呼び込み、患者アクセスを向上させるとともに、医療全体の効率化、薬剤費の財源の重点配分、給付・負担の在り方も検討

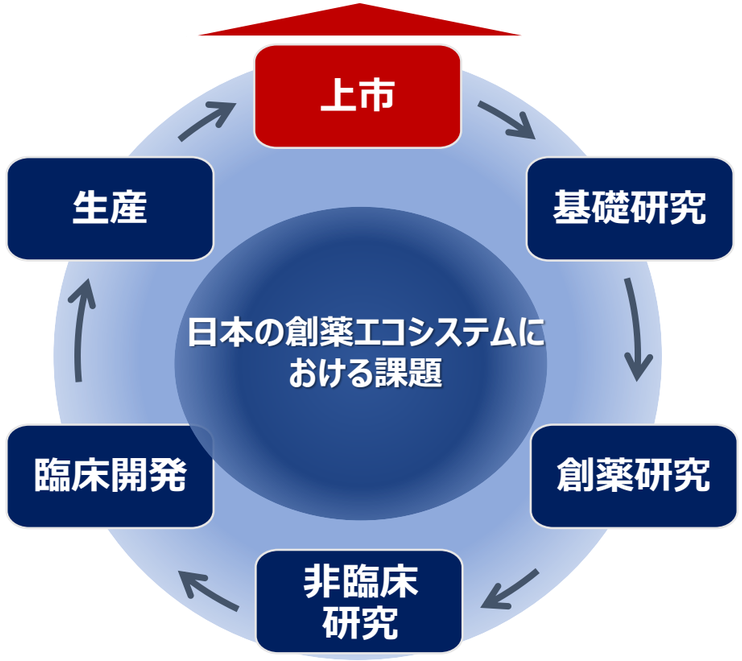
MFN政策への対応と特許期間中の薬価維持・制度の予見可能性の確保
- 外国平均価格調整等の見直しや収載後の特許品の薬価維持も含めて米国価格との大幅な乖離を回避し、予見可能で国際競争力ある制度構築

政府による投資環境の整備を通じて民間投資を呼び込み、さらなる成長につなげる官民投資の好循環の実現※1

国際展開
日本への開発誘致・海外事業化

製造・国内投資
国内製造基盤の強化・国内再投資促進

治験実施体制
症例集積力の強化・国際共同治験の増加



基礎研究・橋渡し／スタートアップ
シーズの実用化・事業化

AI・データ利活用
創薬成功率・ 製造効率の向上

人材
専門人材の確保・育成・流動化

※1 内閣官房「日本成長戦略概要」（2026年7月）p.1、p.2を基に作成

革新的医薬品のイノベーションの更なる評価以外のテーマの内容

製薬協

人材

- 創薬人材の産学官・スタートアップ間の流動化に向け、出向・兼業時の給与差等を補う支援と、企業が中長期的にリターンを得る経済合理性のある仕組みを整備
- 創薬・バイオ製造分野の中長期的な人材需要を明らかにし、安定的な育成予算の確保と海外先進拠点での実地研修等を含めた高度専門人材の育成を推進

基礎研究・橋渡し、スタートアップ支援

- AMEDとの連携AND-Eを通じ製薬企業の創薬ノウハウ・目利き能力を活用し、早期研究課題からのシーズ探索と実用化支援体制を強化
- Vエコ事業等を活用したより早期のシーズへの投資、海外EBP開発品の国内導入支援、カーブアウト設立期前後の人材・資金支援、VC連携や国内非臨床CROの機能強化を推進

国際展開

- ASEAN等の海外市場環境の整備と、政府・国際機関・製薬企業等の官民連携により、日本発創薬シーズの開発・海外展開への支援を強化
- PMDA海外拠点の戦略的活用によるアジアの規制調和、現地企業とのマッチング・当局対応等の実務支援を強化し、海外展開の成果を国内に還元

AI・データ利活用

- 国主導で基礎から実用化まで一貫したAI創薬基盤を整備し、産業界が参画しやすい仕組みづくり、質の確保、継続的な学習・更新の仕組みを構築
- GeMJの全ゲノム・臨床・マルチオミックス情報の連結・継続収集と安定的な予算の確保。日本版EHDSに向けた法案の早期成立・施行と利活用環境の整備

治験実施体制

- 臨床研究中核病院と地域医療機関のネットワーク化やDCTの普及により、症例集積性を高め、国際共同治験に対応できる競争力ある治験基盤を構築
- 医療データの利活用による患者リクルートの効率化、治験情報の発信・患者アクセス向上、CRC等の専門人材育成や治験手続きの合理化を推進

製造・国内投資

- 抗体医薬品・ADC等の国内一貫製造基盤と、細胞株・GMPセルバンク・分析評価等の共通基盤への重点投資を進め、国内製造能力を維持・強化
- 国内CDMOの初回利用・製造委託費への支援による製造実績の創出と、設備更新・国内製造移管・再投資を促す複数年度の補助金・税制優遇等を拡充